



特集1

みんなで子育て！ はとやま



子育てを取り巻く環境

「こどもと過ごす毎日は、喜びや発見にあふれています。初めての言葉、できるようになったこと、小さな成長の瞬間、そのひとつひとつが、家族の宝物です。」

しかし、日本の子育てを取り巻く環境は、働き方の多様化や核家族化の進行、共働き家庭の増加など社会の変化によって様々な課題を生じています。そのような背景を踏まえ、国では、令和5年4月に「こどももまなな社会」の実現に向けて「こども家庭庁」を発足させ、こどもを産みやすい、子育てしやすい環境づくりの対策を急ピッチに進めています。

鳩山町の少子化対応

鳩山町の令和7年1月1日現在の総人口は1万2782人で、年齢別では年少（15歳未満）人口は866人で、総人口に占める割合は6.7%と、埼玉県平均11.2%と比較しても低い数値となっています。年少人口の割合は、鳩山町だけではなく全国的に減少傾向となっています。町では、少子化を取り巻く現状と課題を踏まえ、より効果的な子育て支援及び少子化対策の具

体的な施策を検討することを目的に令和5年12月に、町民の皆さんと町職員が協力し、「鳩山町少子化対策チャレンジプラン」を策定しました。このチャレンジプランではライフステージに応じた一貫した総合的支援と子育て世帯の移住促進を基本理念として、町がひとつになって少子化対策を推進しています。

みんなで子育て！ はとやま

少子化の進行は、「経済的な不安定さ」や、「晩婚化・未婚化」、「女性の社会進出」など様々な原因が考えられます。

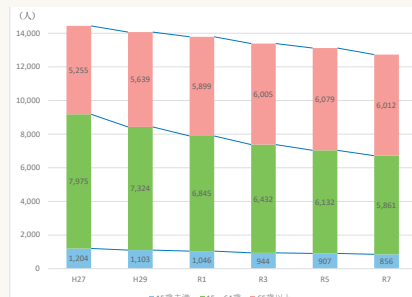
また、「負担の大きさ」や「漠然とした不安」といった子育てに対するイメージも、少子化が進む背景にあると考えられます。

町や関係機関、地域の皆さんがそれぞれ力を合わせて、支援や安心して子育てに取り組める環境づくりをコツコツと進めていくことが重要です。子育てには、悩みや不安がつきもの。「自分のやり方でいいのかな」、

「もっと助けを借りてもいいのかな」と誰もが一度は立ち止まる瞬間があるのではないのでしょうか。

鳩山町で「こどもを育てていきたい」。そういった想いを持つ家族との出会いが、今後たくさん増えていくように、今回の特集では、鳩山町の子育て世帯の方々の声や地域で支え合う取り組み、行政のサポートなどを紹介します。

町全体でこども達の成長を見守り、親もこどもも笑顔になれる地域づくりを考えていきます。



▲鳩山町年齢別人口の推移(10年間)

ママとパパ 二人で子育て！



小学生と幼稚園児のお子さんがあるご家族

・鳩山町での子育て支援

町の助産師さんがマンツーマンでサポートしてくださることがとても助かりました。鳩山町に移住してきて、最初は夫と二人体制の育児でしたが、助産師さんをはじめ色々な方が相談にのってくださったり、サポートしてくださったのでありがたかったです。

・幼稚園に通っていて良かったこと

親子でそろって参加できるイベントが多くて嬉しいです。去年は大豆を植えて、育てて、収穫して、味噌に加工するまでを子どもと一緒に体験させてもらいました。子どもも自分で作ったものをよくこんで食べていました。

また、幼稚園の先生方は子どもたちひとりひとりをしっかり見て、長所を伸ばす指導をしてくださっています。



・鳩山町で子育てをすることを選んだ理由

子育てをする上で、実家のサポートが受けやすいことと、自然が豊かで子どもがのびのび育ちそうなところが、選んだ理由です。

・鳩山町で子育てをしてよかったと思うこと

今年から保育園に入園しましたが、広い園庭で思い切り外遊びが出来るのが、とても良いと思いました。環境に慣れるまで心配でしたが、本人も楽しそうに通ってくれています。

・お子さんとよく遊びに行くところ

町内なら、つどいの広場「ぼっぼ」やはとっこひろば「にこにこ」、町外では近隣のショッピングモールの親子向けイベントに行くことが多いです。



保育園児のお子さんがあるご家族



家族みんなで子育て

鳩山町で子育てをしている世帯の皆さんに、普段の生活の様子や子育ての楽しさや大変さについてお話を聞きました。

・子育てで大変なことはありますか？

私の場合、自分がやりたいことを好きなタイミングでできないことが大変だと感じています。趣味の時間が取れないのもありますが、食事や睡眠もそうです。子どもの年齢が低ければ低いほど何をするにもそのペースに合わせることになりますし、その状態が続くことで疲労がたまっています。最近息子の夜泣きが続いているので「夜が来るのが嫌だな」と思うこともあります。

・鳩山町で子育てを行って「よかった！」と思う点はなんですか？

「待機児童がいない」ことです。仕事を続けていくうえで、必須となるのでありがたかったです。私は子育てをするまで別の地域に住んでいて、地元である鳩山町にリターンしたのですが、これを聞いたときに驚きました。おかげで、安心して仕事に専念できていますし、保育士さん方には子育ての相談もできてたくさん助けていただいています。



保育園児二人がいるご家族



・町の中でお気に入りの出かけスポットはありますか？

鳩山町には子育てに関する支援センターがたくさんあって、特に「ひばりキッズルーム」やつどいの広場「ぼっぼ」、町立幼稚園の「ビジョールーム」などによく訪れています。子どもといしょに遊んだり、さまざまな相談ができて助かっています。



0歳児のお子さんがあるご家族

Q 二どもにも注意するときの言葉選びに悩んでいます。あまり良くないとは分かっていても、二どもに危険がともなう場面などでは焦って二どもにダメーと言ってしまうんです。二どもにどんな言い方をすればいいですか？

A 危ないこと、してはいけないことは、〇〇しないでねとその時に教えてあげましょう。例えば、「ダメ」と注意したくなる場面では、どうしてやめてほしいのか、具体的な説明に置き換えるといいと思います。

Q 寝返りが出来るようになってから、うつ伏せで寝ている時間が長くなりました。心配なので、仰向けに戻そうとするのですが、起きてしまいます。

A うつ伏せでよく寝るのであれば、無理に戻すにそのまま寝かせても大丈夫だと思います。固めの布団に寝かせ、枕やタオルなど口や鼻をふさぐ物を顔の周りに置かない様に注意してください。

また、寝ている間は呼吸をしているかなどそばで気を付けて見てあげることが大事でしょう。

子育てお悩みQ&A

つどいの広場「ぼっぼ」に寄せられた子育てのお悩みを回答と共に掲載します。

Q そろそろ母乳からミルクや離乳食への切り替えを考えていますが、どちらも少量しか口にしてくれません。成長のことを考えると、とても不安です。

A お子さんの中には、体質で食が細かったり、食に興味のなかったりする子もいます。健康で機嫌が良いのであれば、病気の心配はないと考えて良いでしょう。ほんの少しでも口にしていいるなら、そのうち食べられる量が増えていくかもしれません。いまから不安に思わず、長い目で見守っていきましょう。

Q 最近オムツを履くのを嫌がったり、オムツの中に手を入れたりするようになりました。なぜ、そういうことをするのでしょうか？

A 痛みや違和感があるのかも知れませんが、時々オムツの中が蒸れていないか、皮膚が赤くなっていないかなど気を付けて見てあげると良いでしょう。

子育て支援センター&あった Cafe ぽぽる



『ぽぽる』は0～3歳を中心に、未就学児とその保護者の方々のふれ合いの場として、いつでもご利用いただける子育て支援の場です。

■日時 月曜日～土曜日

午前9時～午後4時

■場所 鳩山町今宿 525-10 サカエノイツ 1F

■問合せ 子育て支援センター&あった Cafe ぽぽる ☎ 210-3217

メール: popolu@ai-relief.jp



▲リズム遊びの様子

▼おもちゃもたくさんあります！



どうぞめしあがれ♪

▲ガトーショコラ、プリン



▲からあげ定食



ぽぽるでは、センター内のカフェでランチやおやつを安価で提供しています。(就学前のお子さまは全てのメニューが半額になります)

カフェを利用される場合は、職員にお声がけください。ぜひ気軽にお越しください。お待ちしております♪

■カフェ利用時間

ランチ: 午前11時30分～午後1時

おやつ: 午前11時30分～午後3時30分

はとっこひろば「にこにこ」



にこにこサロンのボランティアが、簡単な作業をしながらお子さんと遊んだり、保護者の方の相談などをお聞きます。

■日時 第2、第4水曜日 午前10時～正午(事前予約制) (各日5組程度)

※ふくしプラザ事業日は変更になる場合があります。

■場所 鳩山町松ヶ丘一丁目2番地4 (鳩山町コミュニティ・マルシェ内)

■問合せ ニュータウンふくしプラザ ☎ 290-5469



Q. こどもと接する際に注意していること、気を付けていることは？

A. こどもは急に声をかけると怖がるため、いきなり声をかけないことやボランティアからこどもにおもちゃを渡すのではなく、こども本位で遊んでもらうようにサポートすることです。「にこにこ」ではこどもたちが安心・安全に過ごしてもらうのが第一だと考えています。

Q. こどもとの関わりで嬉しかったことは？

A. 帰り際に保護者やお子さんが「楽しかった、ありがとう」と言ってくれた時、遊びに来たお子さんが笑顔だった時です。

Q. 鳩山町の子育て世帯の方へ一言！

A. 子育てで自分の思い通りにいかなくても、細かいことは気にしないで大丈夫です。自分だけで抱え込まず、何かあったら周りを頼って、助けを求めてほしいです。ぜひ「にこにこ」に遊びに来てね！

地域で子育てを応援！

町内の子育て支援施設に関わる職員さん、ボランティアの方、学生の皆さんにインタビューを行いました！お子さんと遊んだり、子育てに関する相談に乗ってくれます！ぜひお気軽に遊びにきてください！



つどいの広場「ぽぽ」



小学校就学前のお子さんと保護者の方が気軽に集まることができ、打ち解けた雰囲気の中で親同士の交流や子育ての不安や心配ごとの相談ができる場所です。

■日時 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、土曜日(国民の祝日を除く)
午前10時～午後3時(最終入室午後2時30分)

■場所 鳩山町松ヶ丘 4-1-1 鳩山町多世代活動交流センター 1階

■問合せ つどいの広場「ぽぽ」

☎ 296-7733



「ぽぽ」職員

Q. こどもと接するときに注意していることは？

A. こどもの目線に合わせること、笑顔で接することです。また、こどもの気持ちに寄り添い、こどものペースを大切にするように心がけています。

Q. 「ぽぽ」で働いていて、喜びを感じることは？

A. お子さんならではの楽しいエピソードを見聞したり、お子さんの成長を保護者の方と共感できることです。「楽しかったです。また来ます。」と言ってくれる時が嬉しいです。

Q. 鳩山町で子育てしている方、これから子育てをする方へメッセージ

A. 子育ては頑張りすぎないことが大事です。ぽぽはお子さんとの一緒に時間を楽しく過ごして、リフレッシュできる場所になりたいと思っています。ぽぽには広い部屋が3つあります。気軽に寄って遊んでください。お待ちしております！

山村学園短期大学子ども学科学生



Q. 今学んでいることは？

A. こどもについてはもちろん、障害がある子への支援や保護者への対応のほか、絵本や紙芝居、手遊び、わらべうたがこどもの成長にどんな影響を与えるのか、こどもへの関わり方などについて学んでいます。

Q. お子さんと接する時に注意していることは？

A. 言葉遣いや笑顔、積極的に関わることを大切にしています。また、こども目線に立つこと、こどもの立場になって考えることも意識しています。

Q. こどもと接していて、嬉しかったことは？

A. 実習でこどもたちに「先生」と呼んでもらえたときです。

Q. 鳩山町で子育てしている方にメッセージは？

A. 12月に山村学園短期大学で学祭があるのでぜひ来てください！

つどいの広場「ぽぽ」で大学のゼミの一環として絵本の読み聞かせやペープサート(紙人形劇)の上演を行いました。学生による活動を通して、こどもたちや保護者との交流を深める機会となりました。

鳩山町の子育て支援事業

町ではさまざまな子育て支援制度を整えています。育児相談や経済的な支援、地域の交流の場づくりなど、家庭の状況やこどもの年齢に合わせて利用できる仕組みがあります。そのほか最新の情報は町ホームページ、子育てはとネット、子育てアプリ等で随時情報を配信中です。ぜひご利用ください。

▼町の子育て情報はこちらから

子育てはとネット



すくすく相談 (こどもの発達発達相談)

乳幼児を対象に、お子さんの発達発達に関するご相談を、専門のスタッフ(小児科医、言語聴覚士、臨床心理士、作業療法士など)がお受けします。



第2子以降保育料無償化

子育て世帯の経済的支援のため、町内に住んで第2子以降の保育園等の保育料を無償化します。

こども家庭センター「ぴっぴ」

妊娠・出産・子育てに関する様々な疑問や相談を受け付けています。助産師資格を持つ専任職員、母子保健・児童福祉の専門的知識を持つ統括支援員、保健センターの保健師や管理栄養士等の専門職が支援します。プレイルームは現在お休み中です。再開の際はお知らせします。



子育てアプリ「はとっこ」

子育て関連のイベントや補助金情報のプッシュ通知、お子さんの成長記録機能、親子で遊べる施設情報を掲載している「おたすけマップ」など子育てに役立つコンテンツがたくさんあります。下記二次元コードからダウンロードして登録をお願いします！



iphone



Android



妊産婦健康診査助成

妊産婦健康診査の公費負担を実施しています。妊娠届の時に妊産婦健康診査助成券を交付します。

低所得妊婦初回産科受診助成

低所得者世帯の妊婦の方が、妊娠判定を受けるための初回産科受診の費用を一部助成し、必要な支援につなげます。

鳩山町産後ケア事業

出産後のお母さんと赤ちゃんを対象に、安心して子育てができるようこころとからだのケアや赤ちゃんへの育児相談などを行い、産後をサポートします。(実費負担あり)

こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月までの乳児がいるすべてのご家庭を対象に訪問し、身体計測、子育てに関する情報提供や相談を行っています。

ママパパ教室

妊婦とその家族を対象に、妊娠・出産・産後の育児に関する講話や沐浴実習等を行い、妊娠中から産後を通して不安なく過ごせるように楽しく学べます。

新生児聴覚スクリーニング検査費助成

出生1か月以内のお子さんを対象に、新生児聴覚スクリーニング検査費の助成をします。

1か月児健康診査助成

乳児の成長・発達の確認のために医療機関で実施する1か月児健康診査について、費用を助成します。

きらめき出産祝い品

こどもの出生を祝福し、健やかな成長を願うとともに子育て世帯を支援するために出産祝い品を支給します。

つどいの広場「ぼっぼ」

つどいの広場「ぼっぼ」は、未就学児とその保護者が気軽に集まり、話をしたり、交流できる場所です。子育てに関する不安や悩みなどの相談も受け付けています。



鳩っこイングリッシュリトミック教室

未就学児の親子を対象に、英語の歌に合わせて歌ったり、身体を動かしたり、「耳」と「身体」を使って遊ぶ、外国人講師による指導するリトミック教室を開催しています。本年度は町立鳩山幼稚園を会場に実施しています。

就学後



放課後子ども教室

放課後の学校施設を活用して、子どもたちにとって安心・安全な居場所を提供します。また、コーディネーターやスタッフが子どもたちに様々な学習・体験・交流・遊びを企画します。

学校給食無償化

保護者の経済的な負担を軽減し、園児・児童・生徒の健やかな成長を支えるため、鳩山町立幼稚園、町立小・中学校の給食費を、令和6年度より無償にしています。

就学前



乳幼児健康診査(乳児、1歳6か月児、3歳児、2歳児歯科)

それぞれ対象者には健診日の1か月程前に個別に通知いたします。

妊娠・出産



切れ目のない 子育て支援



さわやか相談室

学校や地域社会において児童・生徒の悩み事が生じた時にいつでも気軽に相談に応じます。

鳩山町ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターでは、小学生以下のお子さんがいる「子育ての援助を受けたい方(利用会員)」と、「子育ての援助を行いたい方(サポート会員)」が会員になり、お互いに地域の中で助け合いをしています。会員制の支え合いで成り立つ、有償の相互援助活動で、サポート会員になるための講習会も開催しています。

■サポート会員の声

自身の子育て経験から、働く女性の助けになればと思い、サポート会員になりました。子育て世帯の支えになる、素晴らしい制度だと思います。ただ、鳩山町はまだサポートする人も利用する人も少ないのが現状です。もっとこの制度をたくさんの人に知ってもらい、協力の輪が広がってほしいです。

